

詩・ハーモニー・アドリブ

——ジャズ・ヴォーカルを伴奏する

講師 |

フィリップ・ストレンジ
スティーヴ・ハヌマン
岡田暁生

日時 |

2014年5月22日(木) 18:30~20:00

場所 |

芝蘭会館しらんかい かん(京都大学医学部構内) 稲盛ホール

★普段とは異なりますのでご注意ください。

先着
200人
限定

主催 | 京都大学人文科学研究所

お問合せ | 京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL:075-753-6902

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

※事前申し込み不要・無料

詩・ハーモニー・アドリブ —— ジャズ・ヴォーカルを伴奏する

大変好評を博した2013年度のストレンジ氏による人文研アカデミー・レクチャーコンサートに引き続き、今回はフィリップ・ストレンジ／岡田暁生『すごいジャズには理由がある——音楽学者とジャズ・ピアニストの対話』(アルテスパブリッシングより5月に発売予定)の刊行を記念して、ジャズ・ヴォーカルとその伴奏のわがをテーマにレクチャーを催します。伴奏ピアニストは、ただのカラオケではありません。どんな風に歌手の呼吸を感じ、やりとりを楽しみ、音楽を展開するのか。伴奏の名手でもあるストレンジ氏にその極意をうかがいます。そして今回のもう一人のゲスト、スティーヴ・ハヌマン氏(ヴォーカル兼トランペット)はスイングからフリージャズまであらゆるスタイルを自由に駆使する、素晴らしいミュージシャンです。もちろんレクチャーだけでなく、お二人による演奏も存分に楽しんでいただきます。



フィリップ・ストレンジ

Phillip Strange (ピアノ)

1960年テキサス生まれ。グレン・ミラー・オーケストラのメンバーとして1988年に初来日、10年間甲陽音楽院(神戸)で教鞭をとった後、1999年より奨学金給費特別研究員としてマイアミ大学に招かれる。2003年にキース・ジャレットの即興についての論文で博士号を得る。2005年までマイアミ大学講師(ジャズ・ピアノ)。マイアミ時代にはダウンビート誌よりBest Instrumental Jazz Solist (2002, 2003)、Best Jazz Original Composition (2002)、Best Jazz Instrumental Group (2001)を受賞。クレア・フィッシャー、ヴィンス・マッジョらに師事。ジョー・ヘンダーソン、ルー・タバキン、デイヴ・ホランド、ピーター・アースキン、マーク・ジョンソン、ジェームス・ムーディー、ケビン・マホガニーらと共演。リリースCD多数。現在大阪在住、梅田ライブハウスAzulのハウスピアニスト。



スティーヴ・ハヌマン

Steve Hanuman (ヴォーカル/トランペット)

ペンシルバニア郊外のデラウェアで育ち、マイアミ音楽大学を卒業後、ジャズ・トランペット奏者、作曲家、プロデューサーとして活躍。ソロ・トランペット奏者としてジャコ・パストリアス、フランク・シナトラ、トニー・ベネット、デイヴ・リーブマン(マイルス・デイビスカルテット)、ボブ・ジェームス、バート・バカラック、日本人アーティストではToku、日野賢二ら多くの有名アーティストとの演奏・レコーディング経験を持つ。作曲家、プロデューサーとしては、日本で10年以上放映され続けているKIDSのCM曲“You changed the feeling”を作曲。最近ではヒロ・ヤマガタ氏と共にテレビCM曲をプロデュースしている。

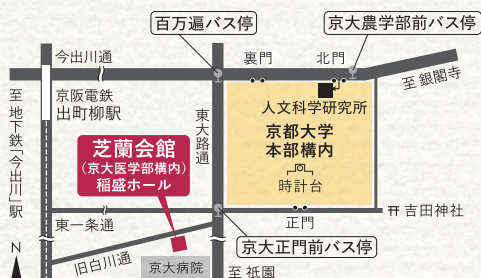


岡田暁生 (おかだ・あけお)

人文研教授

専門 音楽学

著書 『音楽の聴き方』(中公新書、2009、吉田秀和賞)、『ピアニストになりたい』(春秋社、2008、芸術選奨新人賞)、『西洋音楽史』(中公新書、2005)『オペラの運命』(中公新書、2001、サントリー学芸賞)など



- 市バス「京大正門前」バス停から徒歩1分／「百万遍」バス停から徒歩4分
- 京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分
- * 駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

●連続セミナー

軍事環境問題の現在 —— 基地・戦争・核実験

講師 | 田中雅一 / 朴 眞煥 / 北村毅 / 中原聖乃 / 上杉健志
日時 | 5月29日、6月5日、12日、19日、26日 (いずれも木曜)
18:30~20:00

場所 | 人文研本館・セミナー室1

お問い合わせ | 京都大学人文科学研究所総務掛

Tel.075-753-6902 <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>
メールアドレス: z-academy@zinbun.kyoto-u.ac.jp

次回予告